The Paper for Cars and Drivers Established 1978

READERS' NEWS ワイド版

リーダーズ・ニュース　CAR&DRIVER編集部　ダイヤモンド社　〒151 東京都渋谷区初台1-49-1 電話03(378)3131　定価320円　発行日1988年10月10日　通巻179号　Road Runner ©Warner Bros. Inc. 1988

I♥CARS

18年間無事故。アメリカン・フィーリング満点のナイスガイ集団

ダットサン・スポーツカークラブ・オブ・ジャパン

PHOTO●K.SUZUKI

▲50thアニバーサリー純正アルミ

▶数少ない女性メンバーの畑中〝

▲北米市場で育てられたZ

▶会長の大浦〝（左）と幹部たち

▲DSCCは会員を募集中　資格は20歳以上のフェアレディのオーナー（20歳未満は保護者の承諾が必要）連絡先☎045・474・2387大浦

▲Z31型を中心にS30／S130系が大半を占める　50thアニバーサリー仕様をはじめ逆輸入バージョンが多いのがクラブの特徴だ

●ダットサン・スポーツカークラブ・オブ・ジャパン（DSCC）は、フェアレディZのワンメイククラブである。創立は昭和45年6月。フェアレディZ好きの40名が集まって発足したクラブは現在、横浜本部のほかに北海道から九州までの全国8支部、1362名の会員数を誇る大所帯に発展した。クルマの内訳は現行モデルのZ31型を中心に、S30／S130系の〝Z〟がほとんどを占める。

●クラブ名にもなっている〝ダットサン〟は本来、日産のペットネームである。Zカー人気はUSA市場で火がつき、北米で大きく育ったといっても過言ではない。Zカーとアメリカは切っても切れない関係にあるのだ。そのせいか、アメリカン感覚でZを乗りこなすオーナーが多い。「長距離ツーリングでも疲れませんし、安全性のとても高いクルマです。加速だって素晴らしい」と、50thアニバーサリーの逆輸入車に乗るクラブ副会長の岡田〝（34歳）はZの魅力を語ってくれた。同じく逆輸入の280Zに乗る高田〝（25歳）は「左ハンドルに憧れてたんです。ワインディングでもそこそこ速いですし」との弁。集合した20台のうち、なんと7台が逆輸入車だ。また、ズラリ集まったZを見渡すと、サイドステップやアルミでセンスよくドレスUPしているのがわかる。「皆、かなりのお金をかけてます。でも、改造申請して車検はパスしてるんですよ」（会長・大浦〝）というから驚きだ。

▲E・ウイング＋ポテンザを装着

▲5マイルバンパーを装着した古佐原〝

●クラブの活動内容は2カ月おきのツーリングだ。横浜本部の場合、毎回80～120台ものZが集合するという。移動はさぞ大変だろうと思いきや、「会員の多くがアマチュア無線で連絡をとりあっています。はぐれるクルマはまずいません」（大浦〝）というお話。ツーリング先の支部が看板を立ててくれることもあるという。

「でも、磐梯山の麓に最終のクルマが着いたときには、すでに先頭のクルマは山を一周して戻ってきていました」と笑って教えてくれた。

▼センスよくドレスUPした宮崎〝

▲「乗ってみると味がある」と益田〝夫妻

●とにかく迫力あるルックスのZが大群をなして走るのだから、走行マナーには相当厳しい。「制限速度は厳守ですし、ホーンや追い越しは禁止。ツーリング先の警察署には必ず届け出をしています」（岡田〝）というのだからスゴイ。そのカイあってか、18年間事故はナシ。警察の方々にも有名だそうで、静岡方面へ出かけたときなどはツーリングの前後にZのパトカーがついてくれたこともあるそうだ。制限速度を守りながら悠々と流すZの大群。DSCCはそんな風にアダルトにZを楽しむ紳士たちの集まりなのだ。CD

▲迫力のⓟスポイラーは米国製の〝カミナリ〟

▲歴代のオリジナル・ステッカー